

東稲山麓地域を 「世界農業遺産」へ

一関市、奥州市、平泉町の3市町にまたがる東稲山麓地域。そこで営まれる農業システムの世界農業遺産認定を目指す「東稲山麓地域農業遺産認定推進協議会」が平成28年9月29日より発足しています。

31年の認定に向けて活動が本格化する取り組みを通じて、地域の活性化を目指します。

■問い合わせ＝県南広域振興局農政部(☎2841)、本庁農地林務課農村保全室(内線372)

東稲山麓の農業

北上川東岸に位置する一関市舞川地区、平泉町長島地区、そして本市の前沢区生母地区から成る東稲山麓地域は、東稲山（経塚山、音羽山、東稲山の総称）と北上川に挟まれ、古くから水害が多い地域です。そのため先人たちは「東稲山麓の棚田などを活用した伝統的な中山間地域農業」と「北上川流域の遊水地などを活用した水田農業」を組み合わせ、北上川の洪水に対応した農業スタイルを築き上げてきました。

この特徴的な農業スタイルのほかにも、山と川が共存する



経塚山から眺める生母地区

る景観・環境、それに根差した文化・伝統などが育まれ、地域の暮らしを支える農業システムを形成しています。

世界農業遺産とは

食料の安定確保を目指す国際組織である国際連合食糧農業機関（FAO）が、社会や環境に適応しながら形作られてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業

日本の世界農業遺産

29年6月1日現在、国内では8地域が認定されています。



新潟県佐渡市
トキと共生する佐渡の里山
(23年認定)



石川県能登地域
能登の里山里海
(23年認定)

ほかに以下の6地域が認定

静岡県掛川周辺地域…静岡の茶草場農法

大分県国東半島宇佐地域…クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環

熊本県阿蘇地域…阿蘇の草原の維持と持続的農業

岐阜県長良川上中流域…清流長良川の鮎

和歌山県みなべ・田辺地域…みなべ・田辺の梅システム

宮崎県高千穂郷・椎葉山地域…高千穂郷・椎葉山地域の山間地農林業複合システム

システムを、次世代に継承することを目的として2002（平成14）年に創設したのが世界農業遺産です。

平泉の認定などで知られるユネスコ世界遺産が遺跡や歴史建造物、自然などの「不動産」が登録、保護の対象であるのに対し、世界農業遺産は伝統的な農業の「システム」が対象です。

認定を受けた場合でも、農法などに制限はありません。活用・保全の計画に基づき、グリーン・ツーリズムなどの

農業・農村振興の施策が進められるとともに、伝統的な農業・農法や豊かな生物多様性などを次世代に確実に継承していくことが求められます。

地域のためにできること

東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会では、東稲山麓の農業が全国的にも希少な農業システムであり、次世代に継承すべき伝統的なものであると考えます。この地域の宝が世界農業遺産に認定されるように取り組むことを通じて、地域の活性化を目指します。

市民の皆さんも、これまで営んできた農業の価値を再認識して農業を守るという機運を高め、一緒に地域の将来を考えて持続的な地域づくりに取り組みましょう。



昨年9月の設立総会で青木幸保平泉町長が会長に選出

【農業】

- ・棚田を中心とした伝統的農業（米）
- ・国内屈指の規模を誇る遊水池での水田農業（米、麦、大豆）
- ・りんご、カンス、和からし、自然薯、黄金メロン、前沢牛などの特産物 など



【文化・伝統】

- ・平泉大文字送り火
- ・儼草神社、月山神社、八雲神社 など
- ・赤生津神楽、蓬田神楽、長部神楽、舞川鹿子躍
- ・食文化（もち料理、はっと汁） など



【景観・環境】

- ・金山棚田
- ・経塚山のつつじ
- ・みちのくあじさい園
- ・西行桜の森
- ・かたくり群生地 など

【地域の取組】

- ・中山間地域の特性を活かした特産品づくり（竹炭、タカキビ、マコモタケなど）や環境保全活動（かたくり群生地の保護、カジカの放流など）
- ・教育旅行などのグリーン・ツーリズム
- ・地元農林産物を使用した6次産業化（パン、菓子、地ビール、からし漬け、自然薯そば、コロッケ、ジャム、プリザーブドフラワーなど）
- ・いわて生協との連携などによる森林づくり（植樹、育樹） など